

暮らしを守り
市民の願い実現



日本共産党の3議席を

日本共産党は、来年4月の江南市議会議員選挙の予定候補者を発表しましたので紹介します。
市民の暮らし・社会保障・教育・防災・環境・まちづくりを応援し、発展させるために全力でがんばります。

日本共産党の躍進で
安倍政権の暴走にストップ

いつも全力投球
くらしの願いを届けます

議会に送っていただき3年余。皆様の切実な願いを市政に届けてがんばってきました。安倍政権の暴走のもと、市民生活を守る確かな砦となるよう全力で働きます。

かけのまち子



勝佐町在住 58歳。
滝中高、名古屋大学理学部卒。
元古知野中学校教諭。市議1期目。現在、市議会建設産業委員、三重県で町議12年。家族は夫、一女。

国民生活を豊かにする
政治をめざします

賃金は下がり、「格差社会」「ワーキングプア」といった言葉が定着し、消費税増税の一方で大企業・富裕層を豊かにすることが優先されています。国民の暮らしに軸足を置いた政策に切り替えることを求めて頑張ります。

東よしき



大間町在住 64歳。
信州大学工学部中退。市議6期目。現在、市議会総務委員、議会改革特別委員会副委員長、家族は妻

主な活動校区
古南・古西・門弟山
布袋・布袋北

戦争への国づくりを許さず
「安心」のまちづくりに全力!

39歳で議会へ送っていただいて31年余。「住民とともに」をモットーに、平和を守り、日々の暮らしの中で起きてくる様々な問題を市政に届け頑張ってきました。これからも初心を忘れず全力をつくします。

森ケイ子



江南団地在住 70歳。
市議8期目。現在、市議会厚生文教委員、江南団地自治会副会長、家族は夫

主な活動校区
藤里・宮田

集団的自衛権の容認は許せない。市長はキッパリ反対を

森ケイ子議員は、集団的自衛権の行使を容認しようとする安倍政権の危険な動きを批判。市長に対し、平和憲法を守る立場から反対を表明するよう求めました。

市長は「国の政策に意見を述べる立場にない」と明言を避ける一方で、「戦争は絶対反対だが、日本の国を守ることは大切」などと答弁しました。



新ごみ処理施設の候補地 地元区の自主性を尊重せよ

東よしき議員は、2市2町の新ごみ処理施設問題を取りあげました。扶桑町小淵区のアナケートで「反対多数」の意思表示がされています。堀市長が地元同意を取り付ける期限はいつまでかと質しました。部長は「今年9月末が目安」、期限までに同意が得られなければ「首長会議にゆだねられる」と答弁しました。東議員は、区の自主性を尊重するよう求めました。

これでは子育てに罰金 子どもの国保税は減免を

国保税には扶養家族の概念がなく、子どもも大人と同額の均等割が掛かるため、子育てに頑張る家庭ほど負担が重くなり矛盾がいっぱい。

かけのまち子議員は、児童手当の対象児童の均等割は軽減するべきと主張。地方税法にも減免の根拠があり、財源もさほど多く必要ありません。市部長は、慎重に対応すると答弁しました。



6月議会
一般質問から

